

しんとみ ニュース

新たな土地の魅力を発信！「地域を編集する学校」開催



新富町総合交流センター「きらり」において編集のプロを招いての全5回にわたるライター育成講座「地域を編集する学校」が開催されました。8月27日は4回目の講座が開催され、作家・ジャーナリストの佐々木俊尚氏を迎え記事の組み立て方など情報発信に関するということについて参加者が質問をして、講師が回答をするという形で行われました。その後、受講生は各グループに分かれて新富町内を取材し、最終講座となる10月1日にその成果としてローカルメディアを作成・発表すること。参加者は互いに、当日どのような発表がされるか楽しみとのことでした。

地域の課題に取り組む――

企業同士をつなぐイベントが開催されました



8月25日、26日の2日間、社会の課題を解決していくことを目標に、教育分野や福祉分野、環境分野など様々な分野で活動する企業が集い、話し合っ

初盆の個人宅を訪ね供養 竹淵地区で 盆踊りが行われました



8月13日、14日の2日間、約30名の参加による竹淵地区盆踊りが行われました。竹淵地区盆踊り保存会会長の森川武幸さんは、「近年、踊り手や囃子（はやし）、太鼓など指導者の高齢化も進み、竹淵地区盆踊りは今年が最後となる。盆踊りにしても神楽にしても型があるので体がしっくり動かないと正確に伝えられない」とのこと。近年、社会問題となっている少子高齢化等の進行などもあり、長年、育まれてきた地域における伝統文化の開催や継承に支障をきたす状況となっています。今年は6軒の家で故人を供養するための踊りが行われました。

自分をみがき、未来をえがく「しんとみ学び塾」開催！



8月16日から8月18日の3日間、「わたしたちも創る、かえってきくなるまちづくり」をテーマに、しんとみ学び塾が開催されました。新富町内の中学生、県内の高校生計44名が参加し、総合交流センター「きらり」を主会場に県内や世界で活躍されている様々な方を講師にお招きし、3日間の学びと体験学習を行いました。2日目は「町を見つめる」をテーマに、宮崎国際大学副学長の講話、海外の日本人学校とのオンライン交流、高校生の学習発表などがあり、様々な方向から町の今と未来を見つめました。小嶋町長も講師として登壇し、参加学生の質問をもとに活発な意見交換が行われました。

みんなで日本文化体験！

国際交流プログラムが開催されました



8月28日、日本文化を体験しながら地域との交流を図ることを目的に、上新田の一棟貸切宿「茶心」で国際交流プログラムが開催され、アメリカ出身の方とインド出身のA.L.Tの方、町内中学生と高校生などが参加しました。イベントでは、着物の着付けや浴衣を着ての散歩、お茶の飲み比べなどを通して日本文化への理解を深めました。着物の着付け体験では、着物と浴衣の違いや歴史、男性用女性用の着物の違いなどの説明を受けた後、実際に浴衣の着付けを行いました。参加者のほとんどは着付け初体験で、帯の巻き方や着物の丈の調整などに苦慮しながらも楽しんでいました。また、お互いの国の食や地域の特徴を話し合い、参加者は海外の文化と日本の文化の違いに目を輝かせていました。